

## 町議会活性化先進地の研修に 佐賀県・長崎県の2町を訪問 友好都市交流の長崎県大村市とも未来に向けた 意見交換を実施

昨年の11月24日〜26日にわたり、議会活性化の先進地を視察研修し、魅力ある議会運営を創出すべく、全議員研修として臨んだ。その一端を紹介する。

### 佐賀県江北町

〔視察目的〕

議会活性化と空き家利用の実態を視察

〔議会活性化〕

江北町は平成25年3月、議会基本条例を制定し、同年4月施行されており、政策立案、行政の監視、情報公開で分かりやすい議会をつくるなど、責任ある議会活動を目指されている。

ここでは情報公開と住民参加を重視し、町民と意見交換、議会報告会の開催などを、町内35地区や区長会で実施されている。

一般質問では、執行部から議員へ反問することができると規定している。このことにより、制定後、議員の緊張感が強くなったそうだ。

〔空き家利用〕

上小田地区では、小田宿・空き家再生プロジェクトを立ち上げて、まちづくりに取り組んでおられる。かつて炭鉱で栄えた、この地区は、閉山後に、急激な人口減が進み、空き家が増加している。

高齢者支援に空き店舗を再生し、「お茶のみサロン」を開設、空き家を再生して児童クラブや高校生キーキカフェなどを実施しておられるとのこと。

「お茶のみサロン」は、空き店舗を改修し、人口減少により地域コミュニ

二ティが希薄になる中で、高齢者が気軽に集まる場所を提供されている。

江北町の空き家活用の特長は、住むことより地域の人が集うことを重視して行われている。

### 長崎県長与町

〔視察目的〕

議会活性化委員会等、議会の活性化に係る議会組織の設置等の実情視察

議会主催の住民懇談会や議会報告会の実施、また地方自治法で定

も議会基本条例に町長の「質問権」を取り入れる考えで、検討を進めている。

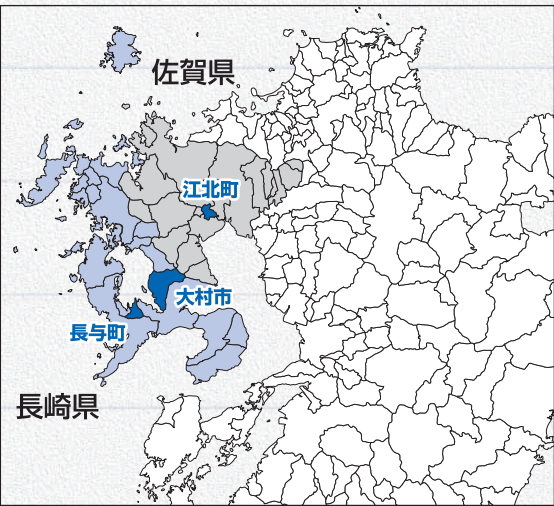
両町の議会が町民の意見・考えを積極的に求めようとする姿勢に感銘を受けた。

### 長崎県大村市

〔訪問〕

平成27年8月3日、長崎県大村市と本町の間で、友好交流都市協定が締結された。両市町の有意義な交流が進むよう、大村市議会と意見交換会の機会を設けた。

大村市議会議員との意見交換会



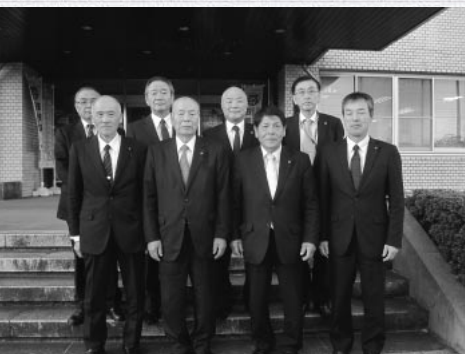
長与町役場の議場にて



江北町役場で説明を受ける



島原市：雲仙普賢岳噴火による土石流被災家屋保存公園を視察



大村市議会庁舎前にて



琴平スカイパークから企業団地を見る



大村市 琴平スカイパークから大村湾を望む(手前側が企業団地)

には、園田市長、商工観光部長、観光振興課長が同席され、今後の両市町の交流に向け意義ある意見を交わすことができた。  
昨年度から、大村市の子供たちが飯南町へ来て、雪遊び、しめ縄体験などを行うツアーが実施されている。大変好評で、今年1月のツアーは抽選で参加者を決めるほど応募者が多いそうだ。大村市は、次回は飯南町を受け入れるツアーを計画をしているとのこと。  
両市町にとって、有意義な交流が展開されることを願う。